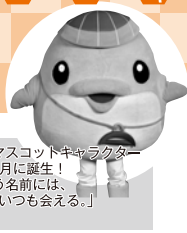




# 自然からの贈り物 再生可能エネルギー



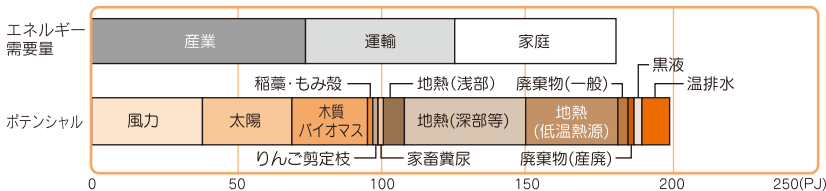
こころ

(浅虫水族館)

浅虫水族館のマスコットキャラクターで、平成18年7月に誕生！  
「こころ」という名前は、「ここに来ればいつも会える」という意味が。

再生可能エネルギーとは、二酸化炭素を排出せず、永続的に利用できるエネルギーです。青森県は、豊かな自然環境に恵まれており、再生可能エネルギーのポテンシャルは、県内のエネルギー需要を上回るという調査結果もあります。

## 青森県のエネルギー賦存量



資料：県エネルギー総合対策局

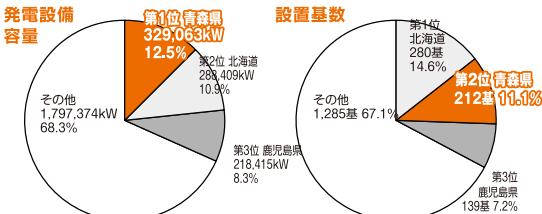
特に、風力発電は全国有数の適地となっており、平成25年3月末現在で、風力発電の設備容量が329,063キロワットで全国第1位、設置数が212基で全国第2位となっています。

また県内には世界初のNAS蓄電池併設型のウィンドファームがあり、その電気は首都圏のビルで「グリーン電力」として利用されています。

その他、県内では、大規模太陽光発電施設(メガソーラー)が稼働しているほか、地中熱や温泉熱を利用した住宅・施設等での冷暖房や融雪など、地域の特性に応じた様々な再生可能エネルギーの活用が図られています。

本県での再生可能エネルギーの導入推進により、脱化石燃料と二酸化炭素の排出量削減につながり、持続可能な低炭素社会の実現に大きく貢献していくことが期待されます。

## 風力発電導入量ランキング (平成25年3月末現在)



## 県内の主な風力発電施設 (平成24年3月末現在)

設置場所	発電設備容量
東通村 (岩屋ウィンドファーム)	1,300kW×25基
(岩屋ウィンドパーク)	1,500kW×18基
(尻労ウィンドファーム)	1,750kW×11基
(小田野沢ウィンドファーム)	1,300kW×10基
(ユースヒッツ北野沢クリフ風力発電所)	2,000kW×6基
六ヶ所村 (むつ小川原ウィンドファーム)	1,500kW×21基
(六ヶ所村風力発電所)	1,500kW×20基
(六ヶ所村二又風力発電所)	1,425kW×2基
(六ヶ所村二又風力発電所)	1,500kW×34基
野辺地町 (野辺地ウィンドファーム)	2,000kW×25基
深浦町 (西つがる風力発電)	2,220kW×9基
五所川原市 (市浦風力発電所)	1,930kW×8基
横浜町 (大豆田風力発電所)	1,750kW×6基
外ヶ浜町 (竜飛風力発電所)	1,675kW×2基
つがる市 (西つがる風力発電)	1,990kW×1基
佐井村 (さくら風力)	1,703kW×1基

資料：NEDO技術開発機構HP

# 東北新幹線全線開業3周年!!

2010年12月4日の東北新幹線全線開業から3年。  
実は、東北新幹線にはいろいろな「ピカイチ！」があるのです。

## 日本一速い！高速新幹線車両(E5系)「はやぶさ」

東京～新青森間の<sup>せいしんまふ</sup>最速<sup>さいそく</sup>列車は2013年3月から2時間59分！新青森駅到着の全ての車両にE5系車両が導入されています。

車体の揺れを瞬時に感知し電気の力で振動を抑制する「フルアクティブサスペンション」を日本で初めて全車両に取り付け、さらに世界で初めてカーブでの乗り心地を改善する「車体傾斜制御」を一緒に搭載。また、国内新幹線初となるファーストクラス「グランクラス」が導入され、世界最高レベルのスピードと「癒し・やすらぎ」を感じられる最高級の客室設備・空間が実現！



## 路線が日本一長い！新青森～東京間

東北新幹線全線開業後は、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、在来線も含めた中で、**日本最長の路線！** これまでの山陰本線(営業キロ673.8km)に代わり、日本一となりました。

## 世界一長い陸上トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455km、複線断面では**世界一長い陸上トンネル**です。青森県の中央部にある八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めるこのトンネルは、6年7カ月にわたる掘削工事のすえ平成17年2月に貫通しました。



## 新幹線の鉄道橋で橋脚間隔が日本一長い！

三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450m。橋を支える橋脚と橋脚の間隔は最長150m、新幹線の鉄道橋で**日本一長い**間隔です。太い柱の両側から数本のケーブルが斜めに張られたエクストラードード橋で、柱の高さと桁の厚さを可能な限り抑えているので、青森ベイブリッジなどの斜張橋に比べて柱が低くケーブル角度も水平に近いのが特徴。



# まだまだあるぞ、 鉄道のピカイチ!

青のゆるキャラ

モーリー

(青い森鉄道株式会社)

青い森鉄道のイメージキャラクター  
緑の森の中で、突然生まれた青い色の木。  
◆ 鉄道の仕事をたまに手伝っている。  
◆ 誰にでも優しく、芯の通った性格。



## 第3セクター鉄道として“日本一の長さに”「青い森鉄道」

東北新幹線全線開業と同時に、並行在来線である東北本線八戸・青森間がJR東日本から経営分離され、第3セクター鉄道「青い森鉄道」が青森まで全線開業。青い森鉄道は平成14年12月に県境の目時・八戸間の7駅、25.9kmで開業しましたが、全線開業により目時・青森間121.9kmと日本一長い第3セクター鉄道となりました。

また、青い森鉄道は、第3セクター鉄道として日本で初めて上下分離方式を採用した鉄道です。上下分離方式とは、鉄道のレール、駅舎、ホーム等の施設(「下」にあたる部分)を県が保有し、鉄道の車両(「上」にあたる部分)を第3セクター鉄道会社が保有して旅客の輸送を行う方式。

新幹線と一緒に、青い森鉄道も、人と地域の元気をつないで走ります。

## “長大海底トンネル”「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで海底トンネルとしては世界一長いトンネルです。日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通!その技術が、英仏海峡トンネルでも活用されました。

### 「青函トンネル」のピカイチデータ

トンネル全長	53.85km(うち海底部23.30km)
スーパーロングレール	延長52.57km
使用したセメントの量	約85万t(セメント袋を積み上げると富士山の850倍)
掘った土砂の量	約630万m <sup>3</sup>
水平ボーリング	2,150m(世界最長!)
火薬の量	約2,900t
作業員の延べ人員	約1,400万人
工事期間	約24年間

資料: 県交通政策課、県青い森鉄道対策室、青函トンネル記念館HP、JR北海道函館支社HP



「鉄道むすめ」は、トミーテックが展開する、全国の鉄道事業者の制服を着たキャラクターです。青森では5人のキャラクターが2012年2月14日、一斉にデビューしました。

左から

- (1) 清水なぎさ (しみずなぎさ)  
十和田観光電鉄(三沢駅~十和田市駅)
- (2) 平賀ひろこ (ひらかひろこ)  
弘南鉄道(弘南線:弘前駅~黒石駅、大鰐線:中央弘前駅~大鰐駅)
- (3) 八戸ときえ (はちのへときえ)  
青い森鉄道(青森駅~目時駅)
- (4) 芦野かな (あしのかな)  
津軽鉄道(津軽五所川原駅~津軽中里駅)
- (5) 七戸ちびき (しちのへちびき)  
南部縦貫鉄道(七戸駅~野辺地駅)

©2005TOMY TEC/イラスト:みぶなつき

# オンリーワンで行こう！

青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術を全国・海外へ発信し続ける元気な企業がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫で他社との差別化を図る」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

## 世界初！食品カロリー自動測定装置 株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック(平川市)

電子レンジのような機械に食品を入れ、**わずか数分でカロリー数値を計測**できる。光の波長“近赤外線”を応用し、**生の食材からお惣菜、お弁当など調理後の食品も測定可能！**肥満への関心の高いアメリカや中国・韓国など、**世界各国で特許取得済み。**

## 世界トップレベル！産業用抵抗器 ニッコーム株式会社(三沢市)

**世界トップレベルの精度を誇る産業用抵抗器を開発。**産業用機械の制御装置や新幹線列車制御、精密電子計測器などからハイブリッド自動車にまで使われている。取引先は**国内400社、海外50社！**様々な用途で世界の社会インフラを支えている。

## 世界シェア9割！角度センサー 多摩川精機株式会社(八戸市及び三沢市)

ハイブリッドカー(HV)や電気自動車(EV)の心臓部である駆動用モーターに搭載する「**角度センサー**」で、**9割の世界シェア**を握る。同社の製品抜きではエコーカーが作れない！

## 国内トップクラス！ストッキング生産 アツギ東北株式会社 むつ事業所(むつ市)

日本ストッキング市場のパイオニア「**アツギ株式会社**」の生産工場として、**国内最大級のストッキング生産量**を誇る。**工業統計調査(H22年)**で青森県が「**パンスト出荷数量日本一**」となっているのは同社の存在によるところが大きい。

## 世界初！高純度プロテオグリカンの量産化に成功 株式会社角弘(青森市)

**プロテオグリカン**は、コラーゲンやヒアルロン酸と一緒に細胞間に存在し、保水性や柔軟性もち、クッションのような役割を果たしている。

かつては、1g 3,000万円と非常に高価だったが、弘前大学との共同研究により、サケの鼻軟骨から大量に抽出する画期的な技術を開発した。平成22年から美容・健康分野への応用が始まり、化粧品やサプリメントなどの健康食品が続々と発売されている。

# きぎょう 元気な企業たち

青森のゆるキャラ



## お米大使

(青森県産米需要拡大推進本部)

青森米の応援キャラクター

◆(中央)お米大使ビロビロ:  
天の恵みを表す

◆(左)アオちゃん:水の恵みを表す

◆(右)モリくん:森の恵みを表す

## 世界初! 光学素子「クロビット」 株式会社テクニカル(弘前市)

**0.2mmの直角三角プリズムは世界最小クラス。**同社が開発した「クロビット」は、大きさ・形状・屈折率の異なる複数のプリズムを組み合わせることにより、**1台のカメラでコインの表裏やサイコロの6面を同時に見ることを可能にした。**

## プロが絶賛! 音質向上「クリーン電源」 株式会社光城精工(平川市)

オーディオ機器の電力を安定化し、音質向上に重要な役割を果たす。プロミュージシャンや全国のオーディオマニア、劇場などから評価され、音質に感激したギタリストで**日本音響学会会長の寺内タケシ氏から感謝状も!**

## 世界トップレベルの電着画像技術! テフコ青森株式会社(弘前市)

**0.03ミリ~0.15ミリの薄い特殊シール**を作り出すという世界が認めるこの技術は、国際特許も取得。世界で生産される高級腕時計の文字盤をはじめ、テレビ、パソコン、自動車のブランドロゴマークなどにも使われている。

## 世界初! 小型光センサー糖度計 東和電機工業株式会社(藤崎町)

りんごなど果実の表面に光センサーを当てただけで測定できる小型糖度計を開発。樹に実ったままの果実も測定できる**「非破壊・ハンディタイプ」の糖度計は世界初!**

## 高精度、高安定の「サーミスタ温度センサ」のトップメーカー! 株式会社三戸芝浦電子(三戸町)

サーミスタ温度センサは、自動車、空調機、冷蔵庫、炊飯器、エアコン、プリンタなどに埋め込まれ、暮らしの様々なシーンで活躍。親会社の芝浦電子は**サーミスタ温度センサのトップシェア**を誇る!

資料:全国のモノ作り中小企業300社(経済産業省)、東北の「光り輝く」企業たち(財団法人東北産業活性化センター)、県商工政策課、県地域産業課、県産業立地推進課

# 温泉いっぱい ん~幸せ!



かんきょうしょう  
環境省の温泉利用状況報告(平成24年3月

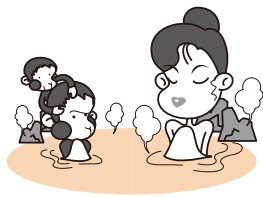
ハムハムくん  
(社団法人青森県観光連盟)

アスハムの開館10周年記念として誕生。  
◆血液型:A型  
◆好きなもの:青森りんご  
◆好きたてのアップルパイ  
◆趣味:アスハムのイベントで子どもたちと遊ぶこと!

末日現在)によると、青森県は**温泉地数**

**全国第4位、湧出量全国第4位の温泉の宝庫!**

温泉地数	(か所)	湧出量	(ℓ/分)		
1位	北海道	244	1位 大分県	285,185	
2位	長野県	225	2位 北海道	244,202	
3位	新潟県	153	3位 鹿児島県	205,045	
<b>4位</b>	<b>青森県</b>	<b>138</b>	<b>4位</b>	<b>青森県</b>	<b>145,586</b>
5位	福島県	137	5位	熊本県	133,557



市街地でも温泉が湧き出すので、近所の銭湯にも温泉銭湯が多くあります。

青森県は人口10万人当たりの公衆浴場数が**24.8ヶ所**(平成22年度)でダントツの**全国第1位!**なんと**全国平均の5.8倍**です。(※ピカイチデータ100もご覧ください。)いつでも温泉や銭湯に入れるよう車に入浴セットを常備している人も珍しくありません。大町桂月が愛した**薦温泉**(十和田市)や、日本海が目前に見える**黄金崎不老不死温泉**(深浦町)、日本一黒いモール温泉と言われる**東北温泉**(東北町)など、バラエティ豊か。青森県民はラーメン好きが多いように(※16ページもご覧ください)、温泉好きも多いんですね!

## ◆国民保養温泉地指定第1号 酸ヶ湯温泉(青森市)

300年ほど前、江戸時代から開かれていた山の温泉宿。湯治客も多い。名物は80坪の総ヒバ造り大浴場「千人風呂」。昭和29年には**国民保養温泉地第1号**に指定!これは、数ある温泉地のうち、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えている地域を環境省が指定しているもので、全国に91ヶ所だけ(H24.9.1現在)。そして青森県には**国民保養温泉地がもうひとつ!**「**薬研温泉**」(むつ市)が昭和46年に指定されています。

湯治の伝統を昔から伝える「温泉王国」青森県。美容とリフレッシュは青森県の温泉で!

資料:温泉利用状況報告(環境省)、環境省自然環境局HP、統計でみる都道府県のすがた(総務省)、「青森県の温泉」HP(県自然保護課)、アプティネット「温泉」HP(県観光交流推進課)

青森のピカイチをもっと知るために、

# 知ってほしい「統計」

青森のゆるキャラ



つがるちゃん

(つがる市)

つがる市のマスコットキャラクター。  
◆どんな子? キュートでおしゃれな女の子。  
◆特徴: 全身でつがる市の特産物  
コメ、スイカ、リンゴ、トマト、ネギ、  
メロン、ナカイモ、コボウを表している。

これまで見てきた青森の「ピカイチ!」。  
データのほとんどは統計調査によるものです。  
ところで「統計」って……

## ★「統計」って何?

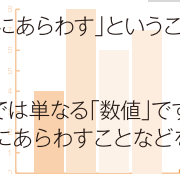
簡単に言うと、「データを集めて整理し、表やグラフにあらわす」ということです。

例えば

2ページの「年平均気温」を見てみると、

青森県は、11.1℃となっていますが、これだけでは単なる「数値」です。

この「数値」を47都道府県でまとめ、表やグラフにあらわすことなどを「統計」といいます。



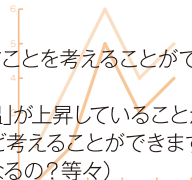
## ★統計って何の役に立っているの?

まとめた「数値」から特徴を知り、分からないことや困ったことを解決したり、どのようにすれば解決できるのか考えたりすることができます。

例えば2ページの「年平均気温」からは、

- ・青森県は全国で3番目に低い気温であることから、これを生かすことを考えることができます。(熱に弱いデータセンターを誘致するなど)
- ・また、経年変化に着目すると、約100年で1.5℃以上「年平均気温」が上昇していることが読み取ることができ、これに対し対策を行う必要があるのかなど考えることができます。(今後この傾向が続くの? 冷涼な気候に適した農産物はどのようなの? 等々)

※経年変化は今回のデータには載っていないので興味のある方は調べてみてください。



## ★ところで統計ってどんな調査があるの?

テレビや新聞で見聞きすると思いますが、世の中には様々な統計があります。

そのうち、国などの行政機関が調査を行い、施策を考えたり実行したりするための基礎資料とするための調査の主なものを基幹統計といいます。

**基幹統計は55調査あり**、最も有名な調査は日本に狂んでいるすべての人が対象の「**国勢調査**」です。

**基幹統計調査**は、様々な形で私たちの暮らしに役立つ調査なので、納税などと同じく報告が義務付けられている重要な統計調査です。

## ★青森のピカイチをもっと知るために

もっと知りたい青森。

どうすれば解るの?

表紙の裏側の「**青森県統計データランド**」などを訪ねてみましょう。

「青森」がもっと良く見えてきますよ!

# ばん がい へん ピカイチデータ番外編

## 青森県のピカピカ人財

さまざまな分野で、夢をもって未来を拓く、個性豊かな、素晴らしい人財(人材)をたくさん輩出している青森県。いくつかの分野に焦点を当て、「数字だけでは読めない」ピカイチな人財の足あとをたどってみました。他にももっとももっとたくさんのピカピカ人財がいます。調べてみると意外な発見があったり、なかなか楽しいですよ。

### 技術・工学

**木村 秀政**  
(1904~1986)  
五戸町

産業発展のカギとして注目を浴びている「モノ作り」の力。青森県には、英知と技術力で日本のモノ作りを牽引した人たちがいます。

「航研機」設計に携わった後、初の国産旅客機「YS11」を開発。プロペラ機で、短い滑走路でも発着できるのが特徴。頑丈で、製造終了後30年以上たった現在も活躍中の機体がある。

**工藤 富治**  
(1889~1959)  
むつ市

金属製として初めて長距離飛行の世界記録を達成したフランスの飛行機「D33型」の製作責任者。1938年には、日本の超長距離試作機「航研機」を製作し、世界記録を更新。

**中村 松太郎**  
(1894~1987)  
八戸市

県内外の重要な寺社の建立・修復に携わり、「日本の名工100人」に。自宅の失火で消失した寺院の再建を悲願に宮大工を志し、54年目にして寺の再興を果たす。

**堀江 佐吉**  
(1845~1907)  
弘前市

洋風建築の先覚者。津軽藩の城大工の家に生まれ、独学で斬新な洋風建築を数多く手がける。建築を「作品」にまで高め、文化財に指定されている建物も多い。

### 科学

**石館 守三**  
(1901~1996)  
青森市

未踏の領域に果敢に挑戦し、新たな「知」を生み出す科学者。青森県には、探究心と創意工夫で私たちの知識や幸福に貢献した人たちがいます。

東京大学の初代薬学部長。ハンセン病の治療薬プロモンの国産化に成功。がんの化学療法剤第1号の開発など、薬学上、数々の実績を残した。「人類愛」の理念のもと、アジア各国のハンセン病、エイズ対策などに心血を注いだ。元日本薬剤師会長。

**一戸 直蔵**  
(1878~1920)  
つがる市木造

日本天文学界の功労者。東京天文台の観測主任を務め、大型望遠鏡による宇宙観測を主張。「日本天文学会」の創設を推進したほか、科学誌「現代之科学」を創刊し科学ジャーナリストとしても活躍。大型望遠鏡は、1999年にハワイに完成した「すばる」により、没後80年を経て実現。



かわ ぐち じゅんいち ろう  
**川口 淳一郎**  
(1955～ )  
弘前市

史上初めて、月以外の天体に着陸し、地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクターリーダー。3億キロ離れた宇宙でのトラブルを克服し、7年もの歳月をかけて帰還を果たした科学技術と熱意に、世界中から拍手が送られた。

にし やま しょうじ  
**西山 正治**  
(1922～1993)  
八戸市

世界初の「レントゲン車」を開発した医師。さらに、あらゆる角度からの撮影を可能とする「ジャイロスコop」の開発が世界に認められ、国際医学放射線学会賞に輝く。

はた い しん きし  
**畑井 新喜明**  
(1876～1963)  
平内町

我が国近代生物学のバイオニア。東北大学付属浅虫実験所開設に尽力。「太平洋学会会議」の席上、優れた業績を残した研究者に贈られる賞は、「畑井メダル」と呼ばれる。

## ジャーナリズム

青森県は、草創期から、わが国ジャーナリズム界を牽引するそうそうたるジャーナリストを輩出してきました。

くが かつ なら  
**陸 羯南**  
(1857～1907)  
弘前市

明治の言論界をリード。新聞「日本」を創刊。明治20年代、日本の近代化・国際化の過程にあつて、欧化主義に反対する立場をとり、国民の精神的共同体としての国家を説いた。

さわ だ きょういち  
**沢田 教一**  
(1936～1970)  
青森市

報道カメラマン。ベトナム戦争の悲惨さや残酷さを4年以上も最前線で撮り続け、戦場に散った。国際的に高く評価され、受賞は多数。「安全への逃避」はピューリッツァー賞に輝く。

と や べ しゆんてい  
**鳥谷部 春汀**  
(1865～1908)  
五戸町

人物評論の第一人者。明治30年代雑誌「太陽」を主宰。周到な調査に基づく平明な文章による客観的な人物評論は「天下の絶品」と称された。

は に こ  
**羽仁 もと子**  
(1873～1957)  
八戸市

日本初の女性記者。「家庭之友」を創刊、後に独立し婦人之友社を設立。雑誌を通じ、女性が自分の才覚で家庭を切り盛りする知恵と勇気を与えた。子どもたちの自由な発想を助け才能を伸ばす教育のため「自由学園」を創立。

## 文学

日本を代表する多くの文学者を世に送り出してきた青森県。文学界のビッグタイトル、芥川賞・直木賞の受賞者も輩出しています。

いし ざか よう じろう  
**石坂 洋次郎**  
(1900～1986)  
弘前市

ユーモラス・軽快な青春小説で国民的人気を博した作家。「若い人」「青い山脈」「石中先生行状記」など次々とヒット作を発表。「陽のあたる坂道」など映画化された作品も数多い。

# ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人材

おほ べ ひ で お  
**長部 日出雄**  
(1934~ )  
弘前市

1973年「津軽世去れ節」「津軽じよんから節」で第69回直木賞を受賞。東京での記者、映画評論家を経て17年ぶりに帰郷し、2年4ヶ月かけて津軽を歩きまわり綿密な取材を重ねて執筆した作品。

こん かん いち  
**今 官一**  
(1909~1983)  
弘前市

県人初の直木賞作家。1956年「壁の花」で第35回直木賞を受賞。1960年には同人雑誌「現代人」を創刊。1980年に帰郷し郷土の作家を育成した。

た ざい おさむ  
**太宰 治**  
(1909~1948)  
五所川原市金木

近代日本文学を代表する作家。波乱に満ちた生き方から暗いイメージで捉えがちだが、「人を喜ばせるのが好きな作家」太宰の作品には繊細な感情と豊かな知性、ユーモアが漂っており、今でも人気が衰えない。「走れメロス」「津軽」「斜陽」「人間失格」「お伽草子」など多くの作品が国内外で読まれている。

み づら てつ お  
**三浦 哲郎**  
(1931~2010)  
八戸市

県人唯一の芥川賞作家。1961年「忍ぶ川」で第44回芥川賞。長編・短編・自伝の小説・歴史小説とたゆみなく発表し、数多くの文学賞を受賞。

## 映画・舞台

人間の身体をもって表現する映画や舞台の世界でも、青森県が生んだ才能は、計り知れない影響をもたらしました。

え ぐち おた や  
**江口 乙矢**  
(1911~2004)  
野辺地町

江口隆哉の弟。隆哉の門下生となり、作品に日本の民話などを取り入れ、現代舞踊の土台を広げ、定着させた。

え ぐち たか や  
**江口 隆哉**  
(1900~1977)  
野辺地町

ドイツ留学を経て、日本にモダンダンスの妙味をもたらし、現代舞踊の礎を築く。元現代舞踊協会会長。

お くに ひで お  
**小国 英雄**  
(1904~1996)  
八戸市

我が国初のトーキー(音声付き)映画の脚本を書く。巨匠黒澤明のシナリオライターとして、数々の傑作に携わる。300本を超える映画シナリオを世に送り出した。

かわ しま りゅう ぞう  
**川島 雄三**  
(1918~1963)  
むつ市

日本喜劇映画の金字塔と賞される「幕末太陽傳」を監督。45年の生涯で51本の作品を作る。斬新、洗練、破天荒を極めた作品は、没後40年以上経た現在でも、多くの信奉者を惹きつけてやまない。

きく や さか え  
**菊谷 栄**  
(1902~1937)  
青森市

「日本の喜劇王エノケン」の片腕として、お笑いの世界を陰で支えた伝説的脚本家。斬新な作風で、戦死するまでのわずか6年間で100本近い作品を生み出した。

# ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人材

てら やま しゅう し  
**寺山 修司**  
(1935~1983)  
弘前市

歌人・詩人・劇作家・映画監督など、驚くほど多くの分野で活躍。演劇実験室「天井桟敷」を旗揚げし、海外でも公演。前衛的な活動は、国内外で高く評価される。

まつ やま  
**松山 ケンイチ**  
(1985~ )  
むつ市

2001年モデルデビュー。2003年に映画デビューした後、「デスノート」への出演で話題を呼び、「カムイ外伝」など次々と主演を果たす。役柄によって演技、外見を自在に変化させるため、「カメレオン俳優」とも評される。「ウルトラミラクルラブストーリー」では毎日映画コンクール「主演男優賞」受賞。2012年はNHK大河ドラマ「平清盛」主演。

よこ はま さと こ  
**横浜 聡子**  
(1978~ )  
青森市

映画監督。長編第一作目「ジャーマン+雨」で2007年度日本映画監督協会新人賞を受賞。2009年には、松山ケンイチ(むつ市)を主演とするオール青森ロケ、津軽弁の「ウルトラミラクルラブストーリー」が公開、4大映画祭の一つといわれるトロント映画祭にも出品された。

## 美術

現在も版画制作が盛んな青森県。版画はもちろん、様々な美術で、世界に通じる個性豊かな芸術家を生み出しています。

あべ ごう せい  
**阿部 合成**  
(1910~1972)  
青森市浪岡

波乱に富む生涯から「修羅の画家」と呼ばれる。戦前の作品が反戦絵画と迫害され、出征しシベリア抑留など、苦難に満ちた戦争時期の後、メキシコで得た題材や技法を生かし晩年まで独特の作品を制作。

く じょう ごう じん  
**工藤 甲人**  
(1915~2011)  
弘前市

戦後を代表する日本画家。西洋の幻想的美術に影響を受け、津軽の風土に根ざした独自の日本画の世界を創造。盛んな創作意欲で、毎年創画展へ出品を続けた。

こん じゅん じゅん  
**今 純三**  
(1893~1944)  
弘前市

日本近代銅版画の先駆者。県人初の文展洋画入選。東京で新進の画家として活躍していたが、関東大震災を機に青森へ戻り、銅版画や石版画の技法研究に力を注ぎ、数多くの版画を制作。

せきの の じゅんいち じゅう  
**関野 準一郎**  
(1914~1988)  
青森市

青森で今純三から銅版画を学ぶ。戦後の物不足の中、東京で銅版画の研究會を主催。のちに国際的に活躍する若者たちが集まった。材料は自前調達、道具を工夫し版を作り、プレス機まで自作。リトグラフなど様々な技法に挑んだ。

たか やま り うち  
**鷹山 宇一**  
(1908~1999)  
七戸町

日本の希有な幻想画家。棟方志功らの青光画社に参加し、日本美術学校在学中、二科展に初入選。二科会の重鎮としても活躍。

# ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

なら よし とも  
**奈良 美智**  
(1959~ )  
弘前市

日本のアートシーンのトップランナーとして国際的にも注目を集める現代美術作家。2006年夏にオープンした県立美術館の建築と一体化した人気の「あおもり犬」は、高さ8.5mの像で、彼の最も大きな作品。

なり た とおる  
**成田 亨**  
(1929~2002)  
神戸市生まれ  
青森市で育つ

彫刻家、特撮美術監督。「ウルトラマン」シリーズのヒーロー・怪獣・宇宙人・メカをデザインし、日本の戦後文化に大きな影響を与えた。彫刻家の感性・資質が反映されたデザインは、放映後40年以上経つ現在も輝きを放つ。

おん かつ し こう  
**榎方 志功**  
(1903~1975)  
青森市

「世界のムナカタ」と呼ばれる「板画家」。国際美術展で最高賞受賞。県人初の文化勲章受章者。ゴッホに憧れ、油絵から板画の道へ。板による表現であると「板画」と称した。板画のほか、倭画、油絵、書など、縦横無尽に彫刻刀や筆をふるい他に類を見ない独特の世界を創り上げた。

## 音楽

時代を超えて伝えられていく音楽。青森県は、そうそうたる音楽家を輩出し、そして今も送り出し続けています。

あわ や こ  
**淡谷のり子**  
(1907~1999)  
青森市

10年に1人のソプラノと絶賛され、東洋音楽学校(現東京音楽大学)を首席で卒業。様々なジャンルに取り組み、日本のシャンソン界の先駆者となる。代表曲から「ブルースの女王」と呼ばれた。

たか はし ちく ざん  
**高橋 竹山**  
(1910~1998)  
平内町

津軽三味線を芸術の域にまで高めた名人。津軽三味線独奏を初めてレコードに収録。東京で定期演奏会を行い、竹山ブームを巻き起こす。海外でも公演を行い、津軽三味線を世界に知らしめた。

はら のぶ こ  
**原 信子**  
(1893~1979)  
八戸市

日本オペラ黎明期のソプラノ第一人者。国内で活躍した後、アメリカ、カナダ各地を巡演し、イタリア・ミラノの名門スカラ座の専属歌手に。「原信子歌劇研究所」を設立し、後進を育てた。

わた なべ うち と  
**渡辺 浦人**  
(1909~1994)  
東京生まれ  
青森市で育つ

日本を代表する交響組曲「野人」を作曲。日本音楽コンクールで主席入選。800曲の校歌、1,500曲の童謡など、2,000を超える作品を送り出した。元日本民族音楽協会会長。

# ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人材

## スポーツ

青森県は、我が国を代表するスポーツ選手を数多く輩出しています。ここでは、オリンピックのメダリストを紹介します。

**赤石 光生**  
(1965～)  
弘前市

レスリング選手。ロサンゼルスオリンピックレスリングの62キロ級で銀メダル、バルセロナオリンピック68キロ級で銅メダルを獲得するなど、オリンピック3大会連続上位入賞を果たした。1992年、青森県民名誉賞を受賞した。

**泉 浩**  
(1982～)  
大間町

柔道選手。アテネオリンピックの柔道競技90キロ級において、銀メダルを獲得した。2004年、青森県民栄誉賞を受賞した。

**伊調 馨**  
(1984～)  
八戸市

レスリング選手。アテネ、北京及びロンドンオリンピックのレスリング競技女子63キロ級において、3大会連続で金メダルを獲得した。2004年秋、学術、芸術、スポーツ分野の功労者に授与される紫綬褒章を受章。2008年及び2012年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

**伊調 千香**  
(1981～)  
八戸市

レスリング選手。アテネオリンピック及び北京オリンピックのレスリング競技女子48キロ級において、2大会連続で銀メダルを獲得した。2008年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

**小原日登美**  
(1981～)  
八戸市

レスリング選手。ロンドンオリンピックレスリング競技女子48キロ級において金メダルを獲得した。2012年、青森県民栄誉賞を受賞した。

**齋藤 春香**  
(1970～)  
弘前市

ソフトボール選手。日本チームの中心打者として活躍し、シドニーオリンピックで銀メダル、アテネオリンピックで銅メダルを獲得。北京オリンピックでは日本代表の監督を務め、金メダルを獲得した。2000年及び2004年に、青森県民栄誉賞を受賞した。

**齋藤 仁**  
(1961～)  
青森市

柔道選手。ロサンゼルスオリンピック、ソウルオリンピックの柔道競技95キロ超級において、2大会連続で金メダルを獲得した。1988年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

**坂本 勉**  
(1962～)  
南部町福地

自転車競技選手。ロサンゼルスオリンピックの自転車競技スプリントにおいて銅メダルを獲得した。1984年、青森県民栄誉賞を受賞した。

**古川 高晴**  
(1984～)  
青森市

アーチェリー選手。ロンドンオリンピックアーチェリー一競技男子個人総合で銀メダルを獲得した。2012年、青森県民栄誉賞を受賞した。

資料：青森20世紀の群像（東奥日報社）、青森県近代文学館HP、県立美術館HP、県立郷土館HP、青森県HPほか

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

青森市

日本一の上路式アーチ橋!  
「城ヶ倉大橋」



城ヶ倉大橋は、全長360m・アーチ支間長255mと日本一の長さを誇る上路式アーチ橋! 谷底からの高さは122mにもおよび、四季をとおして城ヶ倉渓谷の美しい自然を楽しめる大人気の絶景スポット!!



日本一!  
カシス収穫量

青森市で約35年前から栽培される「あおりカシス」は、原種に近い自然のカシスが持つ味と香り、豊富な栄養素が自慢! 収穫量は10tを超え、青森市新作スイーツコンテストでグランプリを受賞したアイスプリン「あおりカシスのカタラーナパイ」が発売されるなど注目です!

弘前市

日本最古!  
弘前公園のソメイヨシノ



弘前公園(弘前城)の二の丸東内門内のソメイヨシノは明治15年(1882年)に植えられたもので日本最古となる。130年以上たった現在でも、衰えを感じさせることなく立派な花を咲かせている。

りんごの街のアップルパイ



市内には地物りんごを使ったアップルパイを焼いている洋菓子屋、パン屋、和菓子屋がなんと40軒以上もあり、アップルパイガイドマップも作成され、市民の間でも美味しいと人気も上々! また、毎年イベントも多数行われ、現在は巨大アップルパイでのギネス認定を目指している。

八戸市

第1回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催の地



第1回国民体育大会冬季大会スケート競技会は、終戦の翌々年、昭和22年(1947年)1月に八戸市の中心地区にある長根のスケートリンクで開催された。これまでの開催回数は全国最多の12回!

日本一!の八戸せんべい汁



2012年10月に開催された、「第7回B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリin北九州」にて、八戸せんべい汁研究所がゴールドグランプリを受賞!  
八戸せんべい汁は、肉や魚、野菜などでだしを取った汁の中に、「おつゆせんべい」を割り入れて煮込む。だしを吸い込んだせんべいはモチモチシコシコした不思議な食感! 八戸のご当地料理。

黒石市

日本一のジャンボこけしと木地だるま! 雪だるま!



平成22年(2010年)10月に完成した「津軽こけし館」のジャンボこけしは、樹齢300年以上のカツラを使用し、高さ4.2195mで日本一! 木地だるまも高さ2m・重さ755kgで日本一! また、高さ31.425mの巨大雪だるまは日本新記録(H14年)!

オンリーワン!  
黒石つゆやきそば



太い平麺が特徴の「黒石やきそば」は、市内約70店それぞれに個性的。「つゆ」をかけた全国でも珍しい「つゆやきそば」は、昭和30年代後半に生まれた。平成23年(2011年)の「全国やきそばサミットin黒石」は大盛況!!!「第5回B-1グランプリ」では2年連続で第7位に入賞、さらに上位を目指す!

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

## 五所川原市

高さ日本一!  
立佞武多



平成10年(1998年)に約80年ぶりに復活した立佞武多。平成25年の新作「陰陽 梵珠北斗星」は、高さ23m、重さ19tという巨大さ! その高さは、7階建てビルに匹敵し、青森のねぶた(高さ約5m)の約4倍! 巨大な山車が天を焦がし街を練り歩く姿は圧倒的!

建物が無い!?  
太宰ミュージアム



2009年に生誕百年を迎えた、旧金木町が生んだ文豪、太宰治。2010年には、多彩な奥津軽を体験できる「太宰ミュージアム」がグランドオープン。斜陽館、芦野公園、地吹雪、津軽料理…「太宰」を感じられる空間が、まるごとミュージアム!

## 十和田市

神秘的!  
十和田湖と  
日本一のブナ



藍色が印象的な十和田湖は、面積61.02km<sup>2</sup>、最深部327mの日本で3番目に深い湖! その高台に「森の神」とよばれ、幹回り6.01mで単木として日本一のブナが鎮座。さらに湖から流れ出た水が奥入瀬溪流となり、千変万化の流れと森の緑が美しい景観を作り出し、訪れた人に感動と癒しの時間をプレゼント。

生産量日本一! ニンニク  
注目度  
ナンバーワン!  
十和田バラ焼き



雪のように白く、栄養たっぷりで粒ぞろい。高品質のニンニクは生産量日本一! 牛バラ肉と玉ねぎがニンニクの甘いタレと絡み、絶妙な味が評判のバラ焼き。市内には、バラ焼きを食べられるお店が80店以上も! 2013年第8回B-1グランプリでシルバーグランプリ受賞!

## 三沢市

人類初の太平洋  
無着陸横断飛行の  
発進地!



昭和6年(1931年)に、住民の支援を受けて三沢の海岸を飛び立ったミスピードル号は、41時間余りの飛行ののち米本土に初到達した。県立三沢航空科学館には、ミスピードル号の精密な復元機をはじめ十和田湖底から引き揚げた旧陸軍機なども展示。



ラムサール  
条約登録湿地  
「仏沼」

仏沼は、絶滅が危惧される野鳥オオセッカの世界最大の繁殖地。その他にも希少な野生生物が生息し、多くの渡り鳥の中継地でもあることから、平成17年(2005年)に、重要な湿地の保全を目的とするラムサール条約登録湿地とされた。

## むつ市

日本三大霊場  
恐山!



慈覚大師円仁が862年に開山。夢のお告げに従って諸国を回り、苦難の末にたどり着いたと伝えられる。白砂の極楽浜、硫黄臭が立ち込める荒々しい岩間、血の池地獄など異空間が広がり、全国から訪れる人を「あの世」の世界に導いてくれる。

東北最古!  
旧大湊水源地  
水道施設



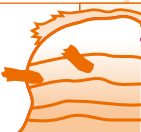
旧大湊水源地水道施設は、明治43年(1910年)に竣工した東北で最初の近代水道施設。特にアーチ式ダムの子組みは美しく、現在は「大湊水源地公園」として市民に親しまれている。平成21年(2009年)12月、国の重要文化財に指定された。

# ピカイチデータ☆市町村！

ふるさとの  
ナンバーワン、オンリーワン

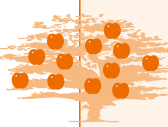
つがる市

世界最大級の埋没林！



出来島海岸の1kmに渡る約2万8千年前の埋没林は、数千本のエゾマツやアカエゾマツなどが幅約30cmの泥炭層に1~2m間隔で埋まり世界最大級！氷河期に洪水など急激な環境変化で針葉樹林が水没し根が腐らず残ったもの。

日本最古のりんごの樹



日本最古のりんごの樹は、明治11年(1878年)に植えられた「紅紋」2本と「祝」1本で、樹齢135年！幹周り3m、樹高7.4mの巨木で、長く張り出した枝は何本ものつかえ棒で支えられ、今も約40箱(5,200個)もの実をつける！

平川市

世界一の扇ねぶた！



津軽が誇るねぶた祭。その「ねぶた」は、なんと高さ11m(横幅9m、奥行4m)で、津軽一！津軽一なら世界一!!さらに、墨彩画調のねぶたもココだけ。平川市ねぶた展示館で会える。毎年8月2日、3日に開催される「平川ねぶたまつり」の合同運行にも出陣。

猿賀神社に咲く「北限の蓮の花」



猿賀神社境内の鏡ヶ池は、県内唯一の「北限の和蓮」の群生地！！この蓮の歴史は古く、藩政時代には既に群生していたと言われている。7月下旬から8月中旬までが見ごろで、約3haという広大な面積の池一面にピンク色の可憐な花が咲き誇る様子は、まさに極楽浄土！

平内町

「ほたて養殖漁業」発祥の地！



ほたて養殖漁業発祥の地である平内町の養殖ほたての水揚げは、36,395t、39億1千5百万円(H24)で、ほたて生産量全国第2位を誇る青森県(75,667t)の48.1%を占め、県内第1位！

天然記念物「北限の椿」！



夏泊半島の椿山は、「ツバキ自生北限地帯」で国の天然記念物。椿神社の境内一帯(約17ha)が1万数千本のヤブツバキに覆われ、4月下旬~6月上旬、紅色の花を咲かせる！裾野に広がる椿山海岸は「日本の渚・百選」に選定！

今別町

世界最長の海底トンネル「青函トンネル」入口！



青函トンネルは長さ53.85kmで、世界一長い海底トンネル。そのトンネル入口が今別町にある！日本の最新技術を駆使し、その技術が英仏海峡トンネルなどにも活用された。

本州で唯一！JR北海道の駅

津軽今別駅

津軽今別駅はJR北海道の唯一の本州地上駅！JR東日本の津軽二股駅と隣接し、道の駅「アスクル」も隣、3つの駅が隣あわせて全国でも珍しい！北海道新幹線「奥津軽駅」(仮称)も設置予定で“しあわせ(4合わせ)駅”！



# ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの

ナンバーワン、オンリーワン

蓬田村

東北最大!  
玉松海岸  
大型離岸堤



玉松海水浴場沖に自然の島をイメージしてつくられた大型離岸堤(全長300m)は東北一の大きさ!美しい海岸を浸食から守っている。

世界最北端に  
生育!  
海草「ウミヒルモ」



ウミヒルモは小判型の緑の葉をもつ海草で、主に熱帯～亜熱帯に生育。世界の北限は佐渡島の南部沿岸とされてきた。平成19年(2007年)に県増養殖研究所の調査で、蓬田村北部沖合1.2km～1.6kmの海底で発見!緯度で3度、距離で300km以上も北へ世界記録を更新!

外ヶ浜町

日本一短い鉄道と  
日本唯一の  
階段国道!



龍飛崎、「青函トンネル記念館」から体験坑道へつながる「青函トンネル龍飛斜坑線」(778m)は日本一短い鉄道で、わずか8分で海面下140mへ到着!また、近くにある「国道339号線」は日本唯一の階段国道(388.2m、362段)!歩行者専用だが道路標識あり。

世界初!  
「超短波多重通信  
回線開通の地」



平館にある巨大コンクリート塔(高さ89m)は、「石崎無線中継所」という本州と北海道の電話回線を無線でつないだ塔。平成13年(2001年)に役割を終えたが、ここは、世界に先駆け昭和12年(1937年)からこの技術に取組み3年後に実用化したゆかりの地!

鱈ヶ沢町

名物!  
鱈ヶ沢ヒラメの  
ツケ丼



ほぼ1年を通じて水揚げされる鱈ヶ沢産ヒラメは、白神山地の清流が流れ込む日本海が育んだ逸品。その鱈ヶ沢産の極上ヒラメを贅沢にツケにし、たっぷりのご飯にのせた「ヒラメのツケ丼」が名物!お店ごとに、工夫を凝らしたオリジナルの漬けダレで、自慢の丼を味わうことができる。

津軽地方で唯一の  
伝統行事!



白八幡宮大祭は、京都の時代まつりと祇園まつりにとてもよく似ていることから、「津軽の京まつり」と称され、300年以上の歴史がある古式ゆかしい伝統行事。平成25年8月には、白八幡宮大祭の祭り行事全体(神輿渡御行列、山車など)が県無形民俗文化財に指定。祭り行事全体での文化財指定は、白八幡宮大祭が初!

深浦町

日本最大!  
北金ヶ沢の  
イチョウ



目通り幹周22m、樹高31m、樹齢約千年、とても一本の木とは思えぬ巨大さ!世界一のイチョウではないかとも言われる。平成16年(2004年)、国の天然記念物に!幹から垂れた乳と呼ばれる気根が地面にまで多数垂れ下がっていることから、古くから垂乳根のイチョウとして崇拜信仰されてきた。

雄大な自然が誇る  
豊かな食材!



白神山地や日本海に面して食材が豊富。山では春から秋にかけて山菜、冬は厳冬の土の下で完熟させてから収穫する「ふかうら雪人参」が抜群の美味さ。マグロの漁獲数量は県内一で、青森県初の新OMOTENASHIご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」も大好評。

# ピカイチデータ☆市町村！

ふるさとの

ナンバーワン、オンリーワン

西目屋村

白神山地すいいち随一の  
景勝「暗門の滝」！



暗門の滝は、下流から第3の滝(26m)、第2の滝(37m)、第1の滝(42m)と3つの滝で構成されている。世界自然遺産白神山地随一の景勝地とされ、白神山地の中で入山者が一番多い。

樹齢400年以上！  
マザーツリー



津軽峠の自然観察道近くにあるブナの巨木「マザーツリー」は、推定樹齢400年、幹周り465cm、樹高30m！強い生命力と包容力を感じさせる、白神山地の神秘的なシンボリック的存在。

藤崎町

大賞&  
農林水産大臣賞  
ダブル受賞！  
「こめたま」



常盤村養鶏農業協同組合の「こめたま」は、休耕地で生産した飼料用米で育てた鶏の卵。味も栄養価も満点！食料自給率アップに貢献したとして、FOOD ACTION NIPPONアワード2009で、大賞と農林水産大臣賞をダブル受賞！

りんごの王様  
「ふじ」  
発祥の地！



りんご生産量世界一の品種「ふじ」の発祥地！旧農林省園芸試験場東北支場が23年間の歳月をかけ育成し、昭和37年(1962年)に命名・登録された。支場跡地の一角に校舎がある県立弘前実業高校藤崎校舎の「りんご科」は日本で唯一の学科！

大鰐町

日本初！  
温泉熱による  
味噌・醤油醸造



温泉で有名な大鰐町。明治43年(1910年)に日本で初めて温泉熱を利用した味噌と醤油の醸造に成功した津軽味噌醤油(株)は、以来、日本唯一の温泉熱醸造！また、大鰐もやし組合の「大鰐温泉もやし」は300年以上の歴史を誇る自慢の味！

「全日本  
スキー連盟」  
発祥の地！



我が国スキー黎明期の大正14年(1925年)、大鰐町で開かれた第3回全日本スキー選手権大会で団結の機運が盛り上がり、開会式後に全日本スキー連盟が発足！このわずか3年後、日本は冬季オリンピックに初参加！

田舎館村

「田んぼ  
アート」  
発祥の地！



1万5千㎡の田んぼに古代米などの稲を植え模様を描く。第一会場では平成25年(2013年)は7色9種類の稲を使い「花魁とハリウッドスター」を描いた。第二会場では「ウルトラマン」に挑戦。海外を含め多くの方から注目の田んぼアート。ぜひ一度ご覧あれ。

東北地方で  
初めて発見！  
「史跡垂柳遺跡」



東北地方で初めて弥生時代の水田跡が発見された遺跡として有名。遺跡内には弥生時代の小さな水田を復元。また、近くの埋蔵文化財センターには弥生時代そのままの水田を展示公開し、歩行可能である。弥生人の足跡は必見！

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

板柳町

世界で一番  
りんごを  
楽しめる町!



「ふるさとセンター」には250種の世界のりんご見本園、スイス産のりんごの化石などがあり、また、樹も葉も実もまるごと活用したオリジナルアイデア製品が多数展示・実演販売されている。また、町ではりんごをふんだんに使ったスイーツ「タルトタタン」コンテストや食べて品種を当てる「きざりんご大会」などのイベントを開催し、りんごの新しい魅力を様々な面から追求している。

ひときわ高い!  
高架配水塔



高さ57.16mの高架配水塔は、自然流下方式で全町への給水を実現。さらに、役場と全公共施設をつなぐ無線LANコンピュータネットワークの中継アンテナも設置され、電話料金がかからない高速通信の実現に貢献!

鶴田町

日本一長い  
木の三連太鼓橋  
「鶴の舞橋」



「鶴の舞橋」は全長300m・幅3mで、県産ヒバ材の丸太3千本と板材3千枚を使用! 橋がかかる津軽富士見湖は日本有数の大きな農業用人工湖! ここ富士見湖パークには、日本初の360度ループの滑り台もある!

朝ご飯を食べて  
目指せ  
長生き日本一!



毎日の元気の源は朝ごはんから! 平成16年(2004年)、全国初の「朝ごはん条例」施行! 他の自治体へも波及し、平成18年には文部科学省の「早寝早起き朝ごはん運動」につながった! 日本一「長い木」の橋「鶴の舞橋」を渡って、「長生き」日本一!?

中泊町

「日本唯一の  
ストーブ列車」の  
終着駅!



津軽中里駅が終着駅の津軽鉄道は、冬期間、私鉄では日本で唯一車内でダルマストーブ(石炭)を焚く「ストーブ列車」を運行! 夏は風鈴列車、秋は鈴虫列車を運行し、さらには「真夏のストーブ列車」まで! 津軽の風物詩となっており、モデルにしたコミックも発刊。毎月第一土曜日、金多豆蔵(きんたまためじょ)人形劇を公演している。

日本二大名岬!  
小泊岬(権現崎)



小泊の「権現崎」は、海拔229m、断崖絶壁の奇勝が見るものを圧倒する日本二大名岬の一つ。約2200年前、秦の始皇帝の命を受け不老不死の仙薬を求めて船出した人物「徐福」がたどり着いたという伝説がある!

野辺地町

日本のスキー  
発祥の地!



明治37年(1904年)、豪商・野村治三郎が外国雑誌でスキーを知り、日本で最初に、運動具店にスキー2台を試作させて滑ったスキー発祥の地。「スキー発祥の地碑」が国設野辺地まかど温泉スキー場「あったかハウス」前にある。



日本最古の  
鉄道防雪林!

野辺地駅ホーム西側に2kmにわたり続く約700本の杉林は、明治26年(1893年)、豪雪地の線路を守るために植林された日本初の防雪林! 全線開通した東北本線が雪で苦しむ中、日本初の林学博士・本多静六(埼玉県出身)の進言で誕生! 昭和35年(1960年)、鉄道記念物に指定!

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

七戸町	<p>日本最古の 羽子板!</p> 	<p>応永3年(1396年)、南部政光によって創建されたといわれる見町観音堂の堂内には、絵馬185点のほか日本最古と考えられる10点を含めた羽子板14点が納められている。平成2年(1990年)に国の重要有形民俗文化財に指定され、一部は鷹山宇一記念美術館で保管・公開されている。</p>
六戸町	<p>日本最大級! ヒナコウモリ 繁殖地</p> 	<p>天間館神社境内のコウモリ小屋は、春～秋の繁殖期、約3千頭ものコウモリが住みつき、希少種「ヒナコウモリ」の日本最大級の繁殖地! 平成19年(2007年)には「全国ヒナコウモリサミット」が開催された。</p>
横浜町	<p>日本初! 「インカトマト」 生産</p> 	<p>トマトの原産地インカ文明が栄えた南米アンデス高原に原生する野生種「インカトマト」。小指の先ほどの大きさで、自然な甘味。アンデスとほぼ同緯度の六戸町で約150種ものハーブを生産する「大西ハーブ農園」が、日本初の食材として生産を始めた!</p>
東北町	<p>県内一早い! 十和田国際 カントリークラブ</p> 	<p>昭和39年(1964年)、青森県で最初に開設されたゴルフ場! 太平洋型の気候で雪が少ないので、オープンが県内一早い! 大自然の中の広大な魅力あるコース、県内外から年間およそ2万5千人の利用客で賑わっている。</p>
横浜町	<p>菜の花への こだわり 日本一!</p> 	<p>菜の花(ナタネ)の作付面積約120ha(H24)は、日本最大級! 菜の花マラソンや菜の花迷路「菜の花フェスティバルinよこはま」を平成3年(1991年)から毎年5月に開催。非焙煎にこだわり一番搾りだけで作った「御なたね油」は農林水産大臣賞を受賞するなど、日本一の取り組み!</p>
東北町	<p>北限の ホタル!</p> 	<p>青森県はゲンジボタルの北限で、県の天然記念物! 毎年7月「ホタル&amp;湧き水まつり」の開催やホタルがすみやすい環境づくり活動が続ける「よこはまホタル村」が、平成19年(2007年)に第3回水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者優秀賞を受賞!</p>
東北町	<p>日本唯一! 地籍を持つ湖 「小川原湖」</p> 	<p>小川原湖は全国で唯一地籍を持つ珍しい湖。「小川原湖191番地」という地番を持っている! 面積は62.16km<sup>2</sup>、青森県で一番大きい。漁業経営体数は琵琶湖、霞ヶ浦、宍道湖に次いで全国第4位。</p>
東北町	<p>日本一黒い! ? 「東北温泉」</p> 	<p>小川原湖温泉郷は、古代の植物が堆積した層を通過して湧出するモール温泉。中でも「東北温泉」は、温泉通も驚くほどお湯が真っ黒! 天然保湿成分メタケイ酸を1kg中に180.9mg含む、美人の湯。</p>

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

## 六ヶ所村

本格長芋焼酎  
「六趣」!



使用している地元六ヶ所産の長芋は、タンパク質やミネラルが豊富。平成18年(2006年)には村内に「六趣醸造工房」が完成し、折れた規格外の長芋を有効活用している! レギュラーとスペシャルの2種類の焼酎を製造。

世界初!  
大容量蓄電池を  
併設した  
風力発電所



六ヶ所村二又電力発電所は、世界初の大容量蓄電池併設型の風力発電所。蓄電池により安定した電力の供給が可能となった。ここで発電された電力の一部は、平成22年(2010年)4月から東京の新丸ビルに送られ、国内初の「生グリーン電力」として利用されている!

## おいらせ町



日本一の  
自由の  
女神像!

いちょう公園にある「自由の女神像」は高さ20.8mで日本一! おいらせ町とアメリカのニューヨーク市が北緯40度40分の同緯度で結ばれていることから、「4」にこだわり本物の1/4サイズ!

鮭のつかみどり  
日本一!



町最大のイベント「鮭まつり」の目玉は、奥入瀬川の河川敷で行われる「鮭のつかみどり」! 平成7年(1995年)「第10回しもだ鮭まつり」での鮭の消費量2,500尾は、ギネスブックの参考記録として日本一に認定された。

## 大間町

本州最北端!  
「大間崎」



本州最北端の岬「大間崎」(北緯41度32分)は、北海道の汐首岬との距離わずか17.5km! 「ここ本州最北端の地」の標識は、この地が本州始まりの地であることも意味している。

最高級ブランド!  
「大間まぐろ」

一本釣りでも有名な「大間マグロ」は、マグロの中で最も大型の「クロマグロ」(別名ホンマグロ)。身が引き締まり脂が乗った日本一のマグロと評判。平成25年の築地市場の初競りでは、1億5,540万円の史上最高値がついた! 「黒いダイヤ」とも言われる。

## 東通村

高さ日本一  
レンガ造り灯台!  
「尻屋崎灯台」



高さ32.82m、レンガ造り灯台で日本一の高さ! 全ての灯台でも全国第6位! 明治9年(1876年)に東北初の灯台として石油式で点灯、明治34年(1901年)には日本初の自家発電による電気式灯台となった。光度は53万カンデラ。

県天然記念物  
「寒立馬」



尻屋地区で放牧されている「寒立馬」。南部馬を先祖に持ち、小柄だけれど寒さと粗食に強く、持久力に富む。尻屋崎の雪原で、寒風の中をじっと耐えて立つ姿は人々の胸を打ち、名前の由来となった。

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

## 風間浦村

日本唯一!  
イカの競泳  
「烏賊様レース」



東京・銀座で開催され大反響を呼び全国的に有名になった「元祖烏賊様(いかさま)レース」。常設レース場(一周20m、6コース)が、村の「活イカ備蓄センター」にあり、7~10月のレース開催期間中、誰でも参加できる!

布海苔  
石投石事業  
発祥の地!



投石(海浜に自然石を人工的に設置)による布海苔養殖法は、明治初年、下風呂地区の先人・佐賀平之丞が考案したもの! 投石による布海苔養殖法は、その後、村内はもちろん、県内及び全国で採用されるようになった!

## 佐井村

奇岩怪石の  
絶景  
「仏ヶ浦」!



他に類を見ない奇岩怪岩が約2kmにわたって続く「仏ヶ浦」の絶景! 如来の首・五百羅漢・一ツ仏・親子岩・十三仏・観音岩・天竜岩・蓮華岩・地藏堂・極楽浜などの名称があり、冬の厳しい姿、夏の穏やかな姿の両方を見られる。

世界に  
唯一残る!  
手製の赤十字旗



日露戦争時、村出身の医師・三上剛太郎は、三角巾と赤毛布で作った赤十字旗を飯包帯所に掲げ、敵・味方なく治療にあたった。後にこの「手製の赤十字旗」はスイスなどで紹介され「世界の宝」と称された! 現在は日本赤十字社青森県支部で展示している。

## 三戸町

世界最大級の  
エクストラードード橋!  
「三戸望郷大橋」



馬淵川にかかる「三戸望郷大橋」は、橋長400m(中央の塔と塔の間隔は200m)! PCエクストラードード工法で造られた橋(つり橋と桁橋を組み合わせた新しい構造形式のコンクリート橋)として、その長さは世界トップクラス!

全国初! ガマズミ  
100%果汁飲料  
「ジョミ」



ガマズミはスイカズラ科の野生植物で、体に良い果実と珍重され、地元では「ジョミ」と呼ぶ。三戸町ジョミ生産組合は、産学官で開発したガマズミ100%機能性飲料「ジョミ」を全国で初めて商品化。平成15年度(2003年)全国地場産業優秀製品表彰優秀賞受賞!

## 五戸町

日本最古の  
カシワの木!



「わむらのカシワの木」(県天然記念物)は、推定樹齢650~750年、樹高22mの大木で日本最古といわれる。江戸時代末期の格式高い武家屋敷の様式を備えた貴重な建造物「旧園子家住宅」(県重宝)敷地内に立つ。

守り伝える  
「江渡家住宅」!



江渡家住宅は天明年間(1781~1788年)に建築された住宅で、大規模な寄せ棟造りのかやぶき屋根が特徴。220年以上経った現在も、在郷武士住宅の完成された姿を良く伝えており、国重要文化財に指定。

# ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

田子町

日本唯一!  
にんにくづくしの  
「ガーリックセンター」



「ガーリックセンター」では特産品であるニンニクやニンニクラーメンなどの加工品、海外からの直輸入ニンニク製品などを販売、展示しており、まさにニンニクづくし。にんにくラーメン、にんにくアイスも味わえる!

湧き水100%の  
上水道!



町の上水道は、豊富な湧き水100%!中でも「大黒森」(標高719.3m)は田地域の77%の水を供給、平成7年(1995年)には林野庁「水源の森百選」に選ばれた。平成4年(1992年)には、ここから見上げる星空が旧環境庁の星空日本一に輝いた!

南部町

にんにく「ふくち  
ホワイト六片種」  
発祥の地!



青森県は日本一のにんにく生産地。色が白く、六片の大玉で、甘味がある「ふくちホワイト六片種」という県独自の品種は、旧福地村苔米地地区で古くから栽培されていた「苔米地にんにく」を改良したもの!

高さ日本一!  
「法光寺」の  
三重の塔



「法光寺」の三重の塔「承陽塔」は、高さ33mで日本一大きい!同じく高さ33m、「名川チェリリン村」にあるアスレチックタワー「龍神タワー」も日本一の高さ!

階上町

古木・巨木の王国  
「はしかみの里」



町内には県や町指定の古木のほか、国内最大級の樹木が多く点在している。巨木を見学するコースもあり、階上売り込み隊のガイドで巨木めぐりを楽しむことができる。

県内で一番早く  
朝日が  
昇る場所!



階上灯台のある「小舟渡(こみなと)海岸」は、県内最東端の地(東経141度41分)で、県内で一番早く朝日が昇る!水平線から昇る朝日はまさに絶景!7月下旬は「いちご煮祭り」会場として賑う。

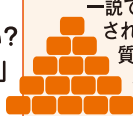
新郷村

キリスト伝説の  
里にある  
「キリストの墓」!



ヘブライ語に似た意味不明の盆踊り歌が伝わり、「ダビデの星」を家紋とする家も。キリストの墓と言われる「十来塚(とうらいづか)」、弟イスキリの墓と言われる「十代墓(じゅうだいぼ)」がある。

エジプトよりも古い?  
「大石神ピラミッド」



一説では、日本に7基存在するピラミッドの一つであるとされる大石神ピラミッド。付近では見られないような石質巨石が散在。古人が太陽に祈り捧げるための祭壇を構成していたといわれ、表面に文字が刻まれていたもの、方位を正確に示すものなどが見られる。

協力:各市町村

## ★青森県の基本データ

人口	1,373,339人	(H22国勢調査)
県総面積	9,644.70km <sup>2</sup>	(H24.10.1現在)
市町村数	40	(10市22町8村)
県の花	「りんごの花」	(1971年制定)
県の鳥	「ハクチョウ」	(1964年制定)
県の木	「ヒバ」	(1966年制定)
県の魚	「ひらめ」	(1987年制定)

## ★近年の主な映画ロケ地

- 「ウルトラ・ミラクル・ラブストーリー」(青森市ほか)
- 「素敵な夜、ボクにください」(青森市)
- 「三本木農業高校、馬術部」(十和田市)
- 「借り暮らしのアリエッティ」  
(平川市盛美園(風景))
- 「わさお」(鯉ヶ沢町)
- 「アオグラ」(七戸町)
- 「青いうた」(むつ市)
- 「五重塔」(五所川原市)
- 「津軽百年食堂」(弘前市)
- 「明日に架ける愛」(つがる市・弘前市)
- 「奇跡のリンゴ」(弘前市)

## ★2013年のピカイチな記録

- 三浦雄一郎さん(青森市出身)が、史上最高齢となる80歳で3度目のエベレスト登頂に成功した。
- 福土加代子さん(板柳町出身)が、モスクワで開催された陸上の世界選手権女子マラソンで銅メダルを獲得した。



# ★青森県の主な郷土料理・家庭料理

## ◆全県

### 貝焼き味噌

だし汁を入れたほたて貝火にかけ、みそと卵を溶いてつくる。



### じゃっば汁

たらを「じゃっば(あら)」ごと使い、大根やにんじんと煮た鍋物。



## ◆津軽地方

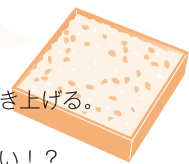
### けの汁

大根やにんじん、山菜を細かくきざみ、みそで煮込んだ汁もの。



### 甘〜い赤飯

赤飯に砂糖を入れ甘く炊き上げる。甘納豆を入れる地域も。甘くなければ赤飯じゃない!?



### 赤〜い! いなりずし

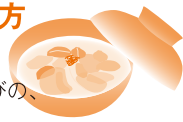
中の酢飯にぎざんだ紅しょうがを入れるので赤い。



## ◆南部地方

### いちご煮

うにとあわびの、贅沢な潮汁。「朝霧の中の野いちご」に見える。



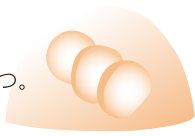
### ひつつみ

小麦粉の生地を引っ張ってちぎったものを入れる具だくさんの汁。つろつとした喉越しと歯ごたえが楽しめる。



### 豆しとぎ

ゆでてすりつぶした大豆を米粉・砂糖等とまぜ、こねたおやつ。焼いて食べると香ばしい。



## ◆下北地方

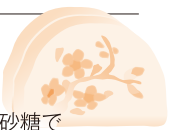
### けいらん

あんこ入りの団子にしょうゆだしをかけた汁もの。



### べごもち

黒砂糖と白砂糖で作るまだら模様からべご(牛)餅と呼ばれる。現在はカラフルで芸術的な模様のももの。



## 平成 25 年度 青森県統計グラフコンクール

知事賞



南都町立南部小学校4年 沼畑 秀さん  
(第61回統計グラフ全国コンクール 佳作)

知事賞



弘前大学教育学部附属中学校 1年 市村 悠華さん  
(第61回統計グラフ全国コンクール 入選)

## 統計で みんなで見よう 時代の動き

(平成 25 年度「統計の日」ポスター標語)

★10月18日は「統計の日」です★

2014年2月 発行

### 青森県企画政策部統計分析課

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 TEL017-734-9164 FAX017-734-8038

e-mail tokei@pref.aomori.lg.jp

この印刷物は30,000部作成し、印刷経費は1部あたり45.2円です。